



# 安曇野市 区長会だより

安曇野市区長会  
第6号 R4.8発行

## 【安曇野市区長会長あいさつ】



令和4年度安曇野市区長会  
会長 土肥 三夫

令和4年度安曇野市区長会長を仰せつかりました、土肥三夫と申します。  
今、区を取り巻く環境は、人口減少、高齢化が進む中で大きく変化しており、区加入世帯の減少、区役員のなり手不足、区長の負担軽減など、各区は様々な課題を抱えています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域で隣人同士が交流の機会を持ちにくくなり、区の基盤である住民相互のつながりが薄くなってきています。

住民の皆様が、自らの手で安全で快適な地域にするために、そして区の活動が充実し「住んでよかった安曇野」となることに少しでもお手伝いできれば幸いです。1年間よろしく願いいたします。

## 安曇野市区長会は、支え合いの地域づくりに、取り組んでいます。

安曇野市区長会は市内にある83の区で組織され、地域住民が交流し、つながりを深め、支え合い、助け合える地域づくりを目指し、様々な取り組みを進めています。

### 区の理解促進へ向けて

区では、役員の負担が大きい、担い手がないなど多くの課題を抱えています。

地域で暮らす皆さんが共に支え合い、助け合える地域づくりが進むよう、各区における部制度の導入を推進するとともに、区のあり方を見つめ直し、地域住民に区を理解してもらい、皆で気持ち良く暮らせるために何が必要か検討し、取り組みを進めます。



### 災害への対応



災害はいつどこで発生するかわかりません。災害が起きた時に備え、日頃からの区の防災・減災対策などについて研究を進めています。私たちが過去の経験から学んだ、命を守るために重要となるご近所同士のお付き合い、顔の見える関係づくりに取り組みます。

### 支え合いの仕組みづくり

少子高齢化や核家族化、ひとり暮らし世帯の増加などにより、地域みんなで支え合い、助け合う地域づくりの重要性が増しています。各区では、様々な支援に取り組まれていることから、先進事例を共有し、各区で支え合い、助け合いの地域づくりが推進されるように取り組みます。



# 直撃 インタビュー！ 区 に関することを聞きました



## 市区長会長になった感想は？

市区長会は、市内 83 区で構成されています。市区長会を運営する立場として、その責任の重さを感じています。

市区長会は発足から 15 年が過ぎ、先輩の皆さんが築かれた市区長会を引継ぎ発展させること、皆様のご協力により任を果たして参りたいと考えています。

## 区長になって良かった事、やりがいを感じることは？

区長になってよかったことと言われても、なかなか思いつかないですが、区民と気軽に話ができるようになったことが良かったです。

また、区民からの要望が形になったときや、イベント等を実施して「良かったね」との声をいただくことが、とても励みになっています。

## コロナ禍における区の運営は？

地域の事業、イベント、祭りなどがコロナという名のもとに中止が余儀なくされています。

各区においては、中止が普通にならないよう、地域のつながりが切れないよう、関係者と話し合う中で方向性を出していただければと思います。

## 地域の皆さんに伝えたいことは？

災害に見舞われたときには、近隣住民の助け合い、支え合いが重要といわれています。いざとなったときに助け、支えてくれるのは近所の皆様です。

そのためには、日頃からのつながりを大切にしていきたいと思っています。

## 支えあい



安曇野市区長会キャラクター

## 地域をつなぐ。 未来へつながる。

区民の皆さんが、普段当たり前のように取り組まれていること、実はとっても大切なこと。区の活動には、ゴミ当番、一斉清掃、様々な行事など、負担に感じることも多いです。でも、その一つひとつが、地域の絆をつないでいます。近所に小さなお子さんがいたり、一人暮らしの高齢者がいれば、何となく気になり、声をかけたりしますよね。その小さな積み重ねが、いざ災害の時などに大きな力を発揮することを、私たちは学びました。

誰もが一人では生きていけない。なかなか意識できないことも多いですが、実は誰もが誰かに支えられて生きている。そして、あなたも、誰かを支えています。そんなところから、今一度、「区」って何だろうって、考えてみませんか。



【発行】安曇野市区長会 【事務局】安曇野市 市民生活部 地域づくり課 電話：71-2494(直通)